



日章学園九州国際高等学校校長便り 如月

建学の精神：道義に徹し、実利を図り、勤労を愛す

学園スローガン：為せば成る

学校教育目標：国際的視野と人間性豊かな心を持ち、自ら学び考え、自己の課題を解決できる生徒を育成する。

令和4年(2022年)2月1日(火) 校長 屋田伸仁



春遠からじ



2月は、**如月**。語源の由来は、まだまだ寒さが厳しい時期のために、更に衣を重ね着するという意味から、「衣更着（きさらぎ）」になつたらしい。しかし、2月4日は立春です。春は確実に近づいています。「春遠からじ」とは、英國の詩人シェリーの詩の一節です。
「冬來たりなば 春遠からじ」原文は、

If Winter comes , can Spring be far behind ?

「冬が来たからといって、春がはるか遠くにありうるだろうか。いやそんなことはないはずだ。冬のあとには必ず春がくるのだ。」という意味になります。寒く、暗い冬のあとに、やがて暖かい春がやってきます。つらい時期を耐え抜けば、やがて幸せな時期がやってきます。学校の桜の木をよく見ると、小枝にある小さなつぼみは、極寒の中でも、少しづつ成長しているのが、目で観察できます。桜は眠っていません。少しづつ春の準備をしています。私たちも、新年度に向けての準備や心構えを高めていきましょう。

2月1日から3年生は進学や就職に向けて自宅学習期間に入ります。1、2年生は本年度の学習のまとめをしっかりとしましょう。論語から学びましょう。



過ちて改めざる、是れを過ちと謂ふ

勉強でできないところをそのままにしておくと、いつまでたってもできないままです。孔子も言っています。「過ちて改めざる、是れを過ちと謂ふ」まちがいを直さないことがまちがいである。できないことができるようになる、わからないことがわかるようになる、これが本当の勉強です。テストを返されて、まちがいを見直し、できないところはできるまで何回も繰り返し復習しましょう。

はばか

過ちは則ち改むるに憚ること勿かれ

これはまちがいや失敗はすぐに改めることが大切という意味です。1年生で習ったことは1年生でしっかりと身につける。2年生に積み残さない。2年生で学習したことは2年生でしっかりと復習する。わからないまま3年生に進級しない。そういう前向きな気持ちをもって、2月は学習のまとめをしっかりと行ってほしい。



INFORMATION

進路変更を考えている生徒・保護者の皆さんへ

学年制の高校では、年間の出席日数が足りない、成績が振るわない等で、留年、落第があります。1単位不足で、また同じ学年を一からやり直すことになります。本校は単位制高校なので、留年、落第はありません。また、コロナ禍で、不登校になったり、昼夜逆転の生活で、生活リズムが乱れたりして、困っていますか。本校は校内の敷地に設備が充実した学生寮があります。基本的生活習慣が自然に身に付き、遅刻、欠席も次第になくなります。この2月、3月に進路変更を考えている生徒・保護者の皆さん、日章学園九州国際高等学校を選択の一つに考えてみませんか。日章学園九州国際高等学校はいつでも皆さんを待っています。